

出張講義のご案内



湘南医療大学

Shonan University of Medical Sciences

看護

命をつなぐ医療の光と影 – 看護の立場から –

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟 2階研究室 1
横浜山手キャンパス
2階研究室11

001

学科長 川本 利恵子

内容

人は臓器移植などの先端医療によって、命をつなぐことが可能となりました。しかし、その治療法は、脳死状態などの提供者（ドナー）の臓器でないと行えないもの、危険性が高い低いものなど様々です。いつも側にいる看護師は、患者さんとともにその治療法の光と影に向き合っています。その光と影は何かを一緒に考えてみましょう。



看護

赤ちゃんの湿疹とスキンケア

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟1階 研究室11

002

教授 石川 眞理子

内容

赤ちゃんは生まれてから3か月頃より乳児湿疹などのスキントラブルが生じます。これはお母さんから受け継いだホルモンの影響を受けているからで、思春期の頃のニキビと同様の機序とされています。スキントラブルは赤ちゃんも思春期の頃もイライラにもつながりますので、適切なスキンケアをして快適な生活を送れるようにしてあげたいものです。皆さんも一緒にスキンケアの基本を学んでみませんか。



看護

乳幼児の健康を守る看護

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟1階 研究室11

003

教授 石川 眞理子

内容

赤ちゃんは生まれてから3か月頃より乳児湿疹などのスキントラブルが生じます。これはお母さんから受け継いだホルモンの影響を受けているからで、思春期の頃のニキビと同様の機序とされています。スキントラブルは赤ちゃんも思春期の頃もイライラにもつながりますので、適切なスキンケアをして快適な生活を送れるようにしてあげたいものです。皆さんも一緒にスキンケアの基本を学んでみませんか。



看護

004

家族の発達と健康

教授 牛田 貴子

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟 2階 研究室 24

内容

人と同じように、家族も年数を重ねて行く中で発達課題を乗り越えていきます。たとえば「10代の子どもを持つ家族」の発達課題のひとつに「子どもの自由や責任を認め、開放的なコミュニケーションに努め、子どもと親との間にゆるやかな絆を形成する」があります。家族の発達と健康とはどのように関係するのか、考えてみましょう。



看護

005

ストレスとこころの病気

教授 片山 典子

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟 2階 研究室 26

内容

「ストレス」や「メンタルヘルス」という言葉はよく耳にするようになり、こころの健康づくりは身近なテーマとなっています。ストレスがこころにどのような影響を与えるかについて、身近な例を示して皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



看護

006

障害がある子どもと家族の支援の現状について考えてみよう

教授 倉田 慶子

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟 1階 研究室 7

内容

身体や知能に障害がある子どもと家族が地域で生活するために、看護師が担っている役割はとても重要です。しかし、その様子は報道されることは少ない現状です。看護師が必要とされている理由をお話しします。



看護

自分らしく生きる～いきいきアンチエイジング～

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟2階 研究室20

007

教授 小林 紀明

内容

アンチエイジングとは、加齢に伴って増える生活習慣病の予防によって老化を防ぎ、若返りを促す「抗加齢」を意味します。そして、どの年代の方でも、自分が加齢を意識した時に「今から20年後、50年後にどうなっていたいか」という目標に向かうための指標となるのがアンチエイジングです。

私たちがなりたい自分を目指すために、今からどんなことをすれば良いのかを、科学的な根拠とともにお伝えします。



看護

高齢者の皮膚のケア

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟1階 研究室6

008

教授 田中 秀子

内容

皮膚の働きとケアの方法についてお話しします。



看護

高齢者のスキンケアについて

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟1階 研究室6

009

教授 田中 秀子

内容

高齢者の皮膚の特徴、加齢に伴う変化、問題になる皮膚の状態、スキナーケアの発生要因とスター分類、ケア方法について、予防的な皮膚のケア



看護

褥瘡ケア～基礎から個別性を考えた応用まで～

研究室場所

010

教授 内藤 亜由美

東戸塚キャンパス
A棟1階 研究室8

内容

「リスクアセスメント」「予防ケア」「DESIGN-R®2020を用いた褥瘡評価」「治療」「地域医療連携」についてご希望の内容について焦点を当ててお話しします。



看護

ウェルビーイングを支えるストーマケア

研究室場所

011

教授 内藤 亜由美

東戸塚キャンパス
A棟1階 研究室8

内容

ストーマをもちながら、ひとりひとりがその人らしくいきいきと生活できるように、「術前看護」「装具選択」「ストーマ合併症のケア」について、ご希望の内容に焦点をあててお話しします。



看護

知っておこう！急変時の対応の意味

研究室場所

012

教授 松月 みどり

横浜山手キャンパス
2階 研究室6

内容

心臓と肺はどのような仕組みで動いているかを知り、救急蘇生のメカニズムと方法のコツについてお伝えします。



看護

洪水について知って、備えよう

研究室場所

横浜山手キャンパス
2階 研究室 6

013

教授 松月 みどり

内容

日本の降水量は年々増加しています。氾濫の仕組みを知って日常からできる備えをして命を守りましょう。



看護

生命を知る “いのち”の誕生と看護

研究室場所

東戸塚キャンパスA棟
1階 研究室5

014

教授 山崎 圭子

内容

“いのち”の始まりはいつからだと思いますか？ どうしてお母さんはお腹の中の胎児に拒絶反応をおこさないの？ 日本はどのようにして少子化なの？ “いのち”が誕生するプロセスはミラクルがいっぱいです。“いのち”を育むための看護について一緒に考えましょう。



看護

命のそばで働くということ

研究室場所

横浜山手キャンパス
2階 研究室 8

015

教授 山勢 善江

内容

事故や急病による 119番通報から救急医療・看護の現場への連携はどのようになっているのでしょうか。また、救急医療・看護の最前線ではどのようなことが行われているのでしょうか。救急看護認定看護師やクリティカルケア専門看護師らスペシャリストの活動とともに、救命と死が隣接する救急看護についてお話しします。



看護

老年期を生きる人の理解と支援

研究室場所

016

教授 ラウ 優紀子

横浜山手キャンパス
2階 研究室10

内容

人は誰しも歳を重ねて老年期を迎えます。ライフサイクルにおける老年期を生きるとは、どういうことか。身体・心理・社会において高齢者は何を経験しているのか。高齢者や家族介護者に必要な支援について、理論や国内外の社会動向をふまえながら分かりやすくお話しします。



看護

がん患者のサポーター

研究室場所

017

教授 渡邊 眞理

東戸塚キャンパス
A棟1階 研究室9

内容

がんは日本の死因の第1位であり、2人に1人ががんに罹患し、3人に1人ががんで死亡すると言われていています。がんの患者さんは、身体的な苦痛のみならず、精神的、社会的（仕事や経済面）、スピリチュアル（生きることの間等）の苦痛を体験しています。そのようながん患者さんをサポートできるのは医療者だけではなく、広い視野でがん患者のサポートについてお話しします。



看護

看護師になるには看護師のキャリア

研究室場所

018

教授 渡邊 眞理

東戸塚キャンパス
A棟1階 研究室9

内容

看護職は、様々な場所、働き方で、専門職として成長しながらキャリアを積んでいます。また専門看護師、認定看護師等の専門家として活躍している看護師もいます。看護職になったらどんな未来が開けるのかお話しします。



看護

019

看護師が実践する病院内における感染制御

教授 渡部 節子

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟1階 研究室10

内容

感染しやすい患者さん（易感染者）が多く入院されている病院において看護師が感染予防や感染拡大防止などの対策をどのように実践しているのでしょうか？
看護ケアにおける感染対策や、病院全体の感染管理についてお話しします。



看護

020

看護師としてのキャリアアップ －認定看護師と専門看護師－

教授 渡部 節子

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟1階 研究室10

内容

看護師の資格を得た後、どのようなキャリアを考えていますか？看護には保健、医療及び福祉の現場において、熟練した看護技術及び知識を必要とする分野があります。
2021年度現在、日本看護協会に登録されている看護分野は、認定看護師21分野、専門看護師13分野です。これらの資格を得るための方法や実際の仕事について感染管理認定看護師と感染症看護専門看護師を中心にお話しします。看護師の資格を得た後のキャリアアップについて考えてみませんか？



看護

021

生活習慣を見直そう －生活習慣病の予防について－

准教授 伊藤 ふみ子

研究室場所

東戸塚キャンパス
C棟2階 研究室29

内容

皆さんの生活習慣は乱れていませんか？
生活習慣ってなかなか変えることが難しいですね。
しかし、生活習慣の乱れから生じる生活習慣病は体調を崩すだけではなく、仕事や家庭にも影響が出るため、なによりも予防が大切です。生活習慣病とその予防方法についてご紹介します。



看護

朝食と健康の関係

研究室場所

東戸塚キャンパス
C棟 2階 研究室 29

022

准教授 伊藤 ふみ子

内容

朝食の欠食は、20代が最も多くなっていますが、朝食を抜くと疲れやすい、太りやすい、集中力が続かない、生活習慣病の引き金のひとつになっているとも指摘されています。朝食の大切さを一緒に考え、健やかな身体作りのために、豊かな人生にしていきたいと思います。



看護

保健分野から考える日本の素晴らしさ

研究室場所

横浜山手キャンパス
2階研究室5

023

准教授 碓井 瑠衣

内容

皆さんは、日本の素晴らしい点や優れた点をどのくらい挙げられますか？保健分野では、国民皆保険制度、高い医療水準、充実した地域医療など、日本は世界に誇る優れた保健システムを多く持っています。途上国での活動経験を通じて見てきた日本の素晴らしさについて、保健分野の具体例を挙げながら、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



看護

がん患者さんの悩みへの対応（相談支援）

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟 2階 研究室 22

024

准教授 清水 奈緒美

内容

がんと診断された患者さんやご家族は、多くの不安を抱えます。よりよい治療を受けたいと願い、治療の決定に悩むこともあります。看護師による相談支援についてお話しします。



看護

がんになっても働き続けるために

研究室場所

025

准教授 清水 奈緒美

東戸塚キャンパス
A棟 2階 研究室 22

内容

がん患者さんの5年相対生存率は6割を超え、がんという病を経験して、あるいは治療をうけながら生活する人が増えています。がんと診断された方が、仕事と治療を両立することについて一緒に考えてみましょう。



看護

脱水症ってなに？

研究室場所

026

准教授 東村 志保

東戸塚キャンパス
A棟 2階 研究室 21

内容

脱水症を知っていますか？地球上の大半の生物は、水を体内に上手に保って活動しています。大切な水が失われると、体では何が起きるのでしょうか？脱水症は、汗をかくスポーツや暑い環境下での労働、感染症などの疾患と関係し、高齢者では慢性的な脱水状態が珍しいことではありません。とても身近だけれど、まだまだ未知な脱水症について、一緒に学んでみませんか？



看護

おなかの健康

研究室場所

027

准教授 三ツ井圭子

横浜山手キャンパス
2階 研究室9

内容

気持ちの良いお通じを出すには、どうすれば良いか。「おなかの健康」について一緒に考えていきましょう。



看護

楽しい育児を目指した妊娠中の看護支援

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟2階 研究室25

028

准教授 望月 千夏子

内容

現代は核家族の中で子育てをしている家族が多くなりました。女性の中には幼い子どもに接する機会が少なく、育児に関する実体験の少なさ、育児知識の伝達がされにくいといった状況がみられ、育児不安を抱えている方がいらっしゃいます。楽しい育児を目指した妊娠中の看護支援を一緒に考えてみませんか。



看護

治療しながら働きたいを支える「治療と仕事の両立支援」って何？

研究室場所

横浜山手キャンパス
2階 共同研究室2

029

講師 安部 仁美

内容

働く人の3人に1人が、病気を抱えながら働いています。また、病気を抱える労働者の9割が、病気を患ったとしても治療を続けながら働き続けたいと回答しています。働くことは生活の糧であるとともに、生きがいとおっしゃる方もいらっしゃいます。私は企業で働く保健師として、労働者の「治療と仕事の両立」をサポートさせていただきました。本講義では、現場での経験と最新の研究成果についてお伝えしながら、本テーマについて皆様と一緒に考えていけたらと思います。



看護

死因第1位の悪性新生物(がん)
「死」を考えることで「生きる」を考えよう！

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟1階 研究室12

030

講師 岡 多恵

内容

2人に1人ががんに罹患し、3人に1人ががんで亡くなる時代ですが、人が亡くなることは、どのようなことでしょうか？この世に「誕生」した者には、いずれ「死」が訪れます。がんという病気と戦い、旅立たれる過程の中で、「看護」は大きく影響します。そこで、「死」を考えることで、「生きる」について考えてみたいと思います。



湘南医療大学

Shonan University of Medical Sciences

看護

031

依存症について

講師 小野寺 悠斗

研究室場所

東戸塚キャンパス
C棟 2階 研究室 43

内容

依存症は当事者のみの問題にとどまらず、さまざまな問題に発展していきます。また、やめたいのにやめられないのは単に意思の問題ではなく、その背景にはさまざまな要因があります。それらを実際の臨床経験や今なお関わっている方々の声を元にお伝えしていきたいと思います。



看護

032

背骨が支える私たちの生活

講師 櫻井 友子

研究室場所

横浜山手キャンパス
2階 研究室 9

内容

背骨ってどんな骨でしょう？立ったり座ったり、運動したりする時に体を支えてくれる大切な骨ですね。ですが、それだけでしょうか？日常生活における不調はもしかしたら背骨に負担をかけているからかもしれません。私たちの生活を支える背骨について看護の視点からお話しします。



看護

033

精神科看護で用いられるコミュニケーション技術や認知行動療法を用いた「実践的問題の整理」の演習

講師 陶山 克洋

研究室場所

東戸塚キャンパス
C棟 2階 研究室 42

内容

皆さんの日常生活の場面で無意識に行われるコミュニケーションについて、意識的に「傾聴」や「受容」、「リフレーミング」などを体験してもらいます。また、自身の問題を解決するため、フレームワークを用いて思考の整理などの体験により、皆さんの豊かな生活への糧にしていきたいと思います。



湘南医療大学

Shonan University of Medical Sciences

看護

家で暮らす人びとへの看護

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟1階 研究室8

034

講師 塚原 ゆかり

内容

「病気や障がいがあっても住み慣れた家で自分らしく暮らしたい」、「人生の最期を自宅で過ごしたい」などと希望する方が増加しています。これからますます在宅医療は普及していくと言われています。そうした中で、大切な役割を果たすのが「訪問看護」です。今回はそんな家で暮らす人びとのための看護について話をします。



看護

高齢在宅療養者の誤嚥性肺炎予防に向けた取り組み

研究室場所

東戸塚キャンパス
C棟2階 研究室43

035

講師 野口 京子

内容

高齢者にとって誤嚥性肺炎はとても重要な病気です。高齢在宅療養者の状況に合わせた看護について、感染看護の視点からお話したいと思います。



看護

赤ちゃんが生まれる神秘

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟1階 研究室12

036

講師 松島 泰恵

内容

助産師は、妊娠中、分娩時の異常の早期発見し母子の命を守ること、命の誕生に立ち会うことを通して命の尊さを身にしみて感じることができる貴重な職業です。赤ちゃんが生まれるまでの胎内での発育発達、分娩時の赤ちゃんの神秘性について解剖生理学的にお話します。



看護 037	ICUを知っていますか	研究室場所
	講師 松永 雄至	東戸塚キャンパス A棟1階 研究室7

内容

私は、ICU看護師として長期間にわたって従事した経験があります。今や、「ICU」という言葉を知らない人は少なくなったように思います。しかし、ICUではどのような治療や看護が行われているか知っていますか。ICUのイメージや疑問に答えられるように、看護師の視点でお伝えします。



看護 038	退院支援	研究室場所
	助教 石橋 史子	横浜山手キャンパス 2階 共同研究室1

内容

在院日数の短縮化が進む中、入院後の生活を見据えて看護していかなければなりません。具体的にどのような退院支援を行っているかお話いたします。

No
Image

看護 039	感染看護	研究室場所
	助教 石橋 史子	横浜山手キャンパス 2階 共同研究室1

内容

病院では、感染を予防、拡大しないように努めています。看護師は、どのような感染予防行動をとりながら看護を行っているかお話いたします。

No
Image

看護

避妊と人工妊娠中絶について

研究室場所

東戸塚キャンパス
C棟 2階 研究室 37

040

助教 日下 桃子

内容

将来、安心して子供を産むために、適切な避妊法が必要です。人工妊娠中絶の実態も踏まえたうえで、正しい避妊の知識を身につけられるよう、お話します。



看護

女性と運動について

研究室場所

東戸塚キャンパス
C棟 2階 研究室 37

041

助教 日下 桃子

内容

高校生は部活動などで運動をすることも多いと思います。女性は月経との付き合い方や体重のコントロールなども考えながら運動にとりくんでいく必要があります。運動が女性にどのような影響を与えるのかについて話します。



看護

同種造血幹細胞移植患者の看護の紹介

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟 2階 研究室 23

042

助教 倉橋 悠子

内容

同種造血幹細胞移植は白血病などの病気を治すための治療です。大量の抗がん剤や放射線で患者の骨髄を壊し、空っぽになったところへ他人の造血幹細胞を移植します。移植を受けた患者は副作用や再発への不安にとっても苦しみます。患者の事例を通して、どのような看護が必要か一緒に考えましょう。



看護

看護における「洗髪」の援助とは？

研究室場所

横浜山手キャンパス
2階 共同研究室 2

043

助教 黒田 由香理

内容

皆さんが、日々何気なく実施している髪を洗う行為には、どのような意味があると思いますか？看護師は、疾患等の理由から、援助が必要な患者さんの洗髪を行います。洗髪の援助時の留意点や実際の患者さんの反応、使用する物品類も紹介しながらお話し致します。



看護

生命の危機から生還した患者の「次なる危機」とは

研究室場所

横浜山手キャンパス
2階 共同研究室 1

044

内容 助教 坂口 達哉

大きな手術や重症な病気の治療が終わりICU（集中治療室）を出られたとしても、まだ安心はできません。治療中に衰えた体力や、辛い治療による心の傷が、患者さんの社会復帰への道を阻むことがあります。あなたの大切な人も経験するかもしれない、誰もが経験しうる「次なる危機」についてお話しします。



看護

認知症者への援助

研究室場所

東戸塚キャンパス
C棟2階 研究室42

045

内容 助教 佐々木 博之

「認知症」と聞くと、どのようなイメージを抱くでしょうか。我が国の高齢化に伴い、65歳以上の認知症患者数は2025年には約675万人と5.4人に1人程度が認知症になると予測されています。65歳未満で発症する認知症（若年性認知症）者も約3.5万人と推計されています。認知症を身近な出来事ととらえ、「認知症に備える」という心構えが必要と言えるでしょう。認知症者への援助について、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。



看護

介護保険って知っていますか

046

研究室場所

東戸塚キャンパス
C棟2階 研究室37

内容 助教 高橋 美保

もし、身近な高齢の家族など介護が必要な状況になったら、どこに相談したらよいでしょうか。また、介護保険サービスにはどのようなものがあるでしょうか。今後の備えとして一緒に考えていきましょう。



看護

月経との付き合い方を一緒に考えましょう

047

研究室場所

東戸塚キャンパスC
棟 2 階 研究室 35

内容 助教 野井 恵加

月経のその痛み、あたり前と思いませんか？女性は初経から閉経まで450回の月経を経験するといわれています。ずっと我慢し続けますか？月経時のセルフケア、低用量ピルやフェムテックについてお話しします。



看護

重症心身障害児(者)とその家族への看護

048

研究室場所

東戸塚キャンパス
C 棟 2 階 研究室 42

内容 助教 本間 誠淳

重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態を重症心身障害といい、その状態にある子どもを重症心身障害児といいます。さらに成人した重症心身障害児を含めて重症心身障害児(者)と呼びます。重症心身障害児(者)の数は、日本ではおよそ43,000人いると推定されています。重症心身障害児(者)とその家族への看護についてお話しします。



看護

がんの予防と早期発見

研究室場所

東戸塚キャンパス
C棟2階 研究室30

049

助教 三堀 いずみ

内容

日本人の2人に1人がかかると言われるがんは、定期的ながん検診によって早期発見・早期治療につなげることができます。その重要性をお伝え致します。



看護

もしも、がんと言われたら

研究室場所

東戸塚キャンパス
C棟2階 研究室30

050

助教 三堀 いずみ

内容

身近な人ががんになったと言われたら、自分ががんと言われたら…。2人に1人がかかると言われる〈がん〉について、分かりやすくお伝えします。



看護

摂食障害について

研究室場所

東戸塚キャンパス
C棟2階 研究室35

051

助教 渡部 李菜

内容

摂食行動の障害を主症状とし、体重や体型へのこだわりがあり、それに伴って気分や自己価値観の変動が見られる病態の総称を「摂食障害」といいます。好発時期は青年期で、女性の発症が多いです。摂食障害による心身への影響、治療など、臨床での経験も交えてお話ししたいと思います。



湘南医療大学

入試事務室

〒244-0806 神奈川県横浜市戸塚区上品濃 16-48

TEL. 045-821-0115

FAX. 045-821-0127

E-mail : nyushi@sums.ac.jp

HP : <https://sums.ac.jp>